



町長の独白

## しまなみエリア初！

### 「しまなみサイクリングフェス 2020 サイクルロゲイニング in しまなみ・ゆめしま海道」開催のお知らせ

コロナ禍においてしまなみ・ゆめしまサイクリングを楽しめるイベントとして、「3密」を避けるための仕組みを取り入れたしまなみエリアで初となる「長期型サイクルロゲイニング」（長期間の自転車によるオリエンテーリング）を開催します。

密集を避けるために、スタートやゴールなどの受付会場もなく、期間中であればいつでもどなたでも無料で自由に参加できるイベントです。

合計獲得ポイント上位の方への賞や飛び賞などさまざまな賞を用意する予定です。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により内容の変更、中止になることがありますのでご了承ください。

#### ■問合せ先 一般社団法人しまなみジャパン ☎ 0848-22-4073 ☎ 0848-22-3811

- 開催期間 10月24日（土）8:00から  
11月23日（月・祝）17:00まで
- 開催場所 上島町・今治市・尾道市全域
- 参加費 無料
- 申込期間 特にありません。スマートフォンアプリ「Getterz（ゲッターズ）」をダウンロードして開催期間中にログスポットを自由に回っていただけようになります。



詳細につきましては、公式ホームページをご覧ください。

<https://shimanami.getterz.net/>

## 守りましょう！ 正しいごみの出し方

### 正しくごみは出せていますか？

今一度、次の点についてご確認をお願いします。

- ◆ 指定袋に名前を書きましょう  
トラブル防止のため、必ず記入しましょう。
- ◆ ごみを出す場所を守りましょう  
お住まいの地区で決められた場所に出しましょう。
- ◆ 分別方法を守りましょう  
間違った分別方法で出されたごみは、円滑な処理の妨げや処理施設の故障の原因となります。

- 燃やせるごみ類  
・上島町指定袋に入れ、必ず名前を書いて出してください。金属類は取り除いていただき、生ごみなどは水分をよく切って出してください。

- ビン、缶、ガラス類、陶器類  
・中身を空にして出してください。スプレー缶、カセットボンベ等は完全に使い切り、穴を開けずに出してください。出すときは、個人が所有する一斗缶やバケツ、地区が管理するキャリー等に入れて出してください。指定袋には入れて出さないでください。

- 小物金属類、古紙類  
・小物金属類は金属以外取り除いて出してください。新聞紙や段ボール、雑誌などの古紙類は、紐で十字に縛って出してください。

- 粗大ごみ  
・粗大ごみシールを粗大ごみ処理手数料表で確認し、金額分を貼り付けて出してください。デジタル・ビデオカメラ、電動自転車、コードレス掃除機など



どの充電式電池が使用されている電子機器などの電池類は取り外し、灯油を含む機器などは、灯油を抜いて出すようお願いいたします。

#### ◆ 収集日当日中の朝8時までにごみを出しましょう

(魚島旭区は朝の7時～10時の間でクリーンセンターへ直接投入)

収集日以外の日や時間外に出されたごみは回収されず、異臭や散乱などにより近隣の方々のご迷惑となります。

ごみの出し方について詳しく説明した『家庭ごみの正しい出し方の説明書』や、粗大ごみの手数料を掲載した『ごみ処理手数料一覧』は、生活環境課・生名住民課・岩城住民課・魚島住民福祉課に置いてあります。また、上島町公式HPでも掲載していますのでご覧ください。

一人ひとりが自分の出すごみに責任を持ち、決められた時間までに、決められた場所へ、決められた分別方法でごみを出すことを徹底しましょう。

#### ● 問い合わせ

- 弓削 生活環境課 ☎ 77-4545  
生名 住 民 課 ☎ 76-3000  
岩城 住 民 課 ☎ 75-2500  
魚島 住民福祉課 ☎ 78-0011

## コロナに打ち勝つ、「オープンマインド」で、

少し前にNHKの「シン・地方の時代」という番組で、コロナ以後を見越して四国各地での新たな動きを紹介した番組がありました。コミュニティデザイナーの山崎亮さん、映画監督の安藤桃子さん、建築家の伊東豊雄さん、IT関係の青野慶久さんという、時代の先端を走る方が、各人各様の視点で、これからの方の在り方について自論を展開していました。羨ましくなるような成功事例が多く紹介されていましたが、共通していたのは、外から異質なものを受け入れるという地元の人たちのスタンスです。「オープンマインド」という言葉で説明されていましたが、新しい考え方、行動様式、価値観等を外部から積極的に受け入れて消化するということだと思います。小さなエリアで足の引っ張り合いをして生まれません。それよりも、なにか未来に繋がる面白いことにみんなで取り組んでいく方が、楽しくて夢が湧いてくるのです。コロナ自粛で縮み志向が続く中、発想さえ変えれば、まだまだいろんなことができそうだと思えてくれる素敵な番組でした。

翻ってまだ、私たちの心の中に「オープンマインド」は健在でしょうか。かつて水軍の末裔として幾多の海に打って出た、そんな気概は残っているのでしょうか。人口減少、少子高齢化、等々、泣き言の材料はいくらもあります。だからと言って手をこまねいていいはずはありません。アクションを起こすべき最後のチャンスが迫っているのです。このコロナ禍を契機に世の中が大きく音を立て変わっていくターニングポイントにさしかかっているのです。今一度あなたの周りを見直してください。これまで当たり前だと思っていた日常生活も角度を変えて見直してください。取り組むべき課題がいくつも転がっているはずです。自分に出来ることはなにか、なにから始めたらよいか、みんなで考え方を起こしましょう。

何事も最初の一歩を踏み出すには勇気がいるのですが、その小さな一歩が大きな変革につながっていくのです。この島では、もっともっと楽しい、面白い生活が展開できるはずです。宝の山をみんなで掘り当てましょう。

上島町長 宮脇 醒

## CONTENTS

広報かみじま  
2020年10月号 第193号



今月の表紙

弓削中学校ろ農ざ大会  
(関連記事22ページ)

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 お知らせ
- 4 人事行政に関する状況の公表
- 6 健康だより
- 8 かみじま郷土話 / 島おこし協力隊活動報告
- 9 LETTERS FROM SCHOOL
- 10 ALTコーナー / 観光協会だより
- 11 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 12 しまなみ農業だより
- 13 防災だより / 消防だより
- 14 お知らせ
- 19 島々の話題
- 20 戸籍だより
- 21 行事カレンダー / 潮汐表
- 22 KAMIJIMA SNAP / 潮湯だより